

【ASTT のプロジェクトの変遷】

※[ASTT 公式ウェブサイト](#)より筆者作成。網掛けは前年度から主な担い手が継続するプロジェクト。★は報告書あり

実施年	岩手県	宮城県	福島県
2011 年 【19 件】	▼仮設住宅や集会所、仮設商店街でのワークショップ等、被災直後の現地状況に対し、課題応答型の多種多様なプログラムを展開。東京都交響楽団（宮城・福島）とヘブンアーティストも派遣（3 県）。		
	- 川俣正ワークショップ - ひょっこりひょうたん塾 - モザイクタイルで看板を！ - 釜石アート支援プログラム - 鶺鴒神楽「宿めぐり」	- 藤浩志とカンがえるワークショップ - 雄勝法印神楽 舞の再生計画 - 女川コミュニティカフェプロジェクト - アート・インクルージョン クリスマスプロジェクト 2011 - ユイノハマプロジェクト「カラダでぶつかり、汗を流す。集え、21 人の浜っ子たち」 - 震災ケア・アートサロン - アーティストラン!!イボイシステーション!! - マイタウンマーケットキャラバン - アートポンプ計画 気仙沼「こどもと復興商店街ワークショップ」 - アートポンプ計画 山元町「山元町伝統工芸職人支援事業」	- 福島大風呂敷 ★ - まていの会プロジェクト - 喜多方・三島・西会津週末アートスクール - 南相馬アートのあそびばプロジェクト
2012 年 【18 件】	▼緊急対応の時期を過ぎると、アーカイブや議論の場づくり等のトピックが浮上。現地自治体（岩手県大槌町、宮城県、福島県）との共催事業も開始。福島県とは「福島芸術計画×Art Support Tohoku-Tokyo」を全県的に展開。		
	- ひょっこりひょうたん塾★ - 普代村鶺鴒神楽継承プロジェクト★ - 釜石アート支援プログラム「とうほくのこよみのよぶね」	- 藤浩志とカンがえる！ドキュメント★ - 女川常夜灯ワークショップ「あるく・かたる・火をかこむ」 - 山元町「井戸端会議」支援事業 - ユイノハマプロジェクト「桃浦を想い、桃浦を担ぐ、桃浦を紡ぐ」 - アートで HUG くもう！おおあみキッズアート 2012 - 浦戸諸島リサーチプロジェクト - なんのためのアート★ - ARC>T_ARCHIVE	【福島芸術計画×Art Support Tohoku-Tokyo】★ - フラッグシッププログラム - 週末アートスクール - 柿の木プロジェクト - マイタウンマーケットキャラバン - 南相馬アートのあそびばプロジェクト - 福島旗プロジェクト「はたと想う」 - まていの心による地域作りプロジェクト
2013 年 【14 件】	▼長期的な芸術文化活動を見据えた、地域の持続的な体制づくりが焦点に。自治体との連携も継続。宮城県では過去の事業成果を踏まえて「おがつの芸祭 鼓舞」「みやぎぶんか 3 ねんめ会議」を後援。		
	- ひょっこりひょうたん塾 - きむらとしろうじんじんの「野点」in 釜石・大槌 - 釜石アート支援プログラム「とうほくのこよみのよぶね」	つながる湾プロジェクト★	【福島芸術計画×Art Support Tohoku-Tokyo】★ - 発信・発展フォーラム - 筑波大学 CR プロジェクト 「プロジェクト FUKUSHIMA！」美術部 - 週末アートスクール - DAYLILY ART CIRCUS 2013 - 小名浜仮設美術館「地引網と浮き球」 - 学校連携共同ワークショップ「スタンプを創ろう！大きな絵」 - 猪苗代・はじまりの美術館プロジェクト - 日比野克彦つなげるつながるプロジェクト「6 年間の思い出ベスト 10！」 - 対話劇を作ろう 平田オリザプロジェクト

2014 年 【11 件】	▼震災から 3 年を節目に外部支援が減少。岩手県と宮城県では重点的な地域展開で事業体制の拡充を試みた。福島県では、継続的に全県的に事業展開。いわき市では復興公営住宅への移行による課題の検討が始まった時期。		
	・ ひょっこりひょうたん塾 ・ きむらとしろうじんじんの「野点」 in 釜石・大槌 ・ 釜石アート支援プログラム「とうほくのこよみのよぶね」	・ つながる湾プロジェクト★ ・ 芸術銀河 2014×Art Support Tohoku-Tokyo 忘れないための被災地キャラバン「いま、もう一度、見て、聴いて、カンがえる。」★	【福島芸術計画×Art Support Tohoku-Tokyo】 ・ 森のはこ舟アートプロジェクト 2014★ ・ マナビバ。-manaviva-被災地のこれからを考える勉強会★ ・ 近所にできた小さな美術館をみんなではじめるフォーラム第 2 弾「美術館にできること 美術館だからできること」 ・ 学校連携共同ワークショップ「ふしぎな世界の入り口」★ ・ ほったてフロンティア ・ 情報発信プログラム
2015 年 【9 件】	▼被災状況への応答を経て、震災が顕在化させた地域の課題と長期的に向き合うための事業展開が求められるようになった。そのため、集中的な地域展開と新たな事業展開を模索した一年。福島県では、復興公営住宅での事業を実施。		
	・ きむらとしろうじんじんの「野点」 in 釜石・大槌 リサーチ&アーカイブ ・ コミュニティ拠点形成プログラム ・ 釜石アート支援プログラム「とうほくのこよみのよぶね」	・ つながる湾プロジェクト★★★★ ・ こどもを対象としたワークショップ（ダンスプロジェクト、ライブアートプロジェクト）	【福島芸術計画×Art Support Tohoku-Tokyo】 ・ 森のはこ舟アートプロジェクト 2015★ ・ イトナミニティプロジェクト★ ・ 学校連携共同ワークショップ「おとなりアーティスト！」★ ・ 情報発信プログラム
2016 年 【10 件】	▼震災から 5 年が経ち、数十年後の地域の暮らしを想像し、そのために必要なプログラムづくりが求められる。事業を継続するなかで築いた関係性をもとに、現地状況に応じた新規プログラムにも着手。いわき市では文化政策と関連したプログラムを開始。		
	・ ぐるぐるミックス in 釜石 ・ ノコノコスコープ in 釜石・大槌 ・ 釜石アート支援プログラム「とうほくのこよみのよぶね」	・ つながる湾プロジェクト ・ こどもを対象としたワークショップ	【福島芸術計画×Art Support Tohoku-Tokyo】 ・ 森のはこ舟アートプロジェクト 2016 ・ 学校連携共同ワークショップ「おとなりアーティスト 2016」 ・ 情報発信プログラム ・ マナビバ。～文化政策から、地域の未来をつくる～ ・ ラジオ下神白ーあのとときあのまちの音楽からいまここへー